

第2回みえりニア戦略プラン（仮称）検討委員会 議事 委員意見要旨

日時 令和7年1月16日（木）13：30～15：00

場所 三重県庁 講堂

- ・ 三重県の認知度は高くない。三重県を訪れてもらう、住んでもらうために、リニア開通前から三重県を国内・世界に広くアピールすべき。
- ・ また、県内の企業情報についても発信して、学生や地域住民に知ってもらうことが大事。
- ・ リニア三重県駅周辺は強靱性を持っていることから、東西の大動脈の中心にある三重県において、日本経済が寸断されないようにリニアを生かした防災・減災への対応は重要。
- ・ 中間報告案に記載のある三重らしさや三重にしかない強みが具体的に何になるかをしっかり明示していく必要がある。例えば、「自然が豊か」とあるが、自然豊かな中でも三重県としてアピールできるところや魅力はどこなのか。
- ・ 若者の人口減少や U ターンがこれからは大事だ。人づくりや人材育成を地域視点で進めていく必要がある。特に高校生に対しては、地域課題に触れて、地域の方と話をし、解決方策を考える機会をつくるといった仕組みづくりなど、仮に大学で県外に出ても戻って来られるように若者への支援が必要。
- ・ インバウンドを呼び込むために、しっかりと三重としての魅力を考え、プロモーションを売っていくことと、同時にオーバーツーリズムによるゴミや渋滞などの問題への対応も考えていくこと。
- ・ コロナ以降、インバウンドの回復が相当に遅い。三重県内の魅力度の高いエリアは名古屋から離れており、アクセスが非常に悪い。リニア駅と観光地を結ぶネットワークを早急に整備していかないと、インバウンドが増えないことを危惧。近鉄や JR 沿線以外の地域にどう波及させていくかが課題だ。特に南のエリアへの波及はとても重要。
- ・ 観光客だけでなく、ビジネスや帰省の合間についでに観光できるような、日帰りプランや1日かけて楽しめるようなプランなど新たな観光客の獲得に向けた取組も考えられる。
- ・ 三重に住みながら東京に勤務する人への支援について、例えば、通勤・通学に対しての支援があればよい。就職するところは東京でも住む場所は三重という新しいライフスタイルのモデルを作っていく必要がある。
- ・ 三重県に高付加価値型の産業を育成すれば、東京で暮らして三重で働くというパターンもあり得る。
- ・ 柔軟な働き方や通学に関して、山梨県では鉄道を利用した県外への鉄道通学定期券の購入費用を助成する交通費の助成制度がリニア開業前ではあるが導入されている。山梨県の取組も参考になる。
- ・ 二拠点居住については住民票が置けない地域においては住民サービスの利用で肩身が狭いケースもある。将来デジタル化が進み各拠点で納税できる社会ができるとすれば、U ターン、I ターンを固定的に考えるのではなく柔軟な暮らしができる時代になることが想定される。バックキャスティングで準備していくことが大事だ。

- ・ 三重県の観光は間違いなく素晴らしい。問題は知名度と二次交通だ。特にインバウンドでは、二次交通も陸路だけでなく、海上交通も含めた広域的な周遊ルートを考えてよいのではないか。
- ・ 中間報告案に記載されている交通ネットワークや拠点の整備、新たなモビリティの導入などはまだ抽象的な表現にとどまっており、定量的な評価に加えて、何をどれだけいつまでにといった具体的な記述がない。また、民間投資を呼び込むような目玉となるプロジェクトも明確にはなっていない。入手可能な移動に関するデータを用いて、移動の実態を把握して、交通基盤に対するニーズや整備効果など定量的な評価が望まれる。
- ・ 日本全体の中でのリニア三重県駅の位置づけを考えた広域的な交流・連携の検討が必要。新幹線の各駅、中部国際空港、南紀白浜空港、リニア奈良県駅などを片側のゲートウェイと位置づければ、紀伊半島全体といった三重県とその周辺地域を一体的に捉えた広域の周遊観光や産業連携を築き上げることが可能。
- ・ このみえリニア戦略プランによって、県民の皆さまがワクワクとした期待感を持ち、また、民間事業の方々が投資意欲を増すことが重要。
- ・ まちづくりの計画や具体準備を進めるために、駅の3つの候補地を一つに決めて欲しいとの声がある。
- ・ 戦略を支える基盤づくりの交通ネットワークについて、特に鉄道ネットワークの強化・充実に期待。亀山にリニア駅ができることになれば、既存の鉄道ネットワークでは足りない部分が多く、既存鉄道の利便性の向上と速達化や多頻度運行を何とかしてほしいとの声もある。リニアの駅を生かす鉄道ネットワークの検討を進めていきたい。
- ・ リニアの車両基地の話があるならば、前向きに協力して一緒に検討していきたい。
- ・ 四日市市の玄関口の整備として、バスタ四日市の整備や図書館の移転など、近鉄四日市駅とJR四日市駅間の中心市街地の再開発プロジェクトを進めており、その内容をこのプランに位置づけて欲しい。
- ・ 若者の流出抑制や産業界の人材不足への対応など、JR四日市駅前に理工系の大学の設置構想を進めている。JRで亀山方面ともつながっていることから、リニアとつながることを含め、プランに位置づけていけるとよい。
- ・ 産業振興について、企業誘致をしていく際は、土地利用が柔軟にできるような制度設計が大切になってくる。プランには、土地利用を柔軟にできる観点に触れて欲しい。
- ・ 観光については、中部国際空港や南紀白浜空港に繋げ、三重県に訪れた人が県内を周遊して展開するルートや県民が出国や全国各地へいくルートでもあるので、周辺の空港を含めたネットワークについて検討を加えるとよい。